

Title	故永戸多喜雄教授のご遺稿掲載にあたって
Sub Title	Sur la publication du manuscrit posthume du regretté Professeur Eito Takio
Author	林, 栄美子(Hayashi, Emiko)
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2015
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. フランス語フランス文学 (Revue de Hiyoshi. Langue et littérature françaises). No.60 (2015. 3) ,p.295(72)- 296(71)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	Mélanges offerts au professeur Suzuki Junji et au professeur Hayashi Emiko = 鈴木順二教授・林栄美子教授退職記念論文集
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10030184-20150331-0296

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

故永戸多喜雄教授のご遺稿掲載にあたって

林 栄美子

ここに掲載したのは、故永戸多喜雄教授のご遺稿にあたる翻訳です。

永戸多喜雄先生が二〇一〇年十月に亡くなられてから、先生のお宅に残された多くの書籍や資料の整理を、ご遺族と共に、経済学部の田中淳一先生のお力も借りながら、ほぼ二年間かけて少しずつ行いました。その際に、二〇〇字詰原稿用紙に永戸先生のきれいなペン字で書かれた、ロジェ・ヴィトラック Roger Vitrac 作戯曲『愛の神秘 *Les Mystères de l'amour*』の翻訳原稿が見つかったのです。ペンで清書されており、全三幕の戯曲を一幕ごとにクリップできちんと綴じてありました。第一幕の部分にこそ後からさらに訂正を施した箇所も見受けられますが、ほぼ完成原稿といえるものでした。おそらくは、先生が生前最後になされたお仕事でありましょう。ロジェ・ヴィトラックは一応シュルレアリスムの作家と分類されていますが、現在日本で読むことができる翻訳は、代表作である戯曲『ヴィクトール、あるいは権力の座についた子供たち』一つのみです。『愛の神秘』は一九二七年に発表された、ヴィトラックの処女戯曲といえるものですが、今まで翻訳は出版されておらず、永戸先生のご翻訳は貴重なものと考えられます。そういうわけでご遺稿をぜひ発表したいと思い、かつて永戸先生が創

刊に尽力された『日吉紀要・フランス語フランス文学』にお載せしてはどうかと考えた次第です。故人の仕事を掲載するとしたらこの紀要としては初めてのことになりますので、編集長にご相談したところ、快く承諾していただき、ここに掲載する運びとなりました。

ご遺族のご記憶によりますと、当初はこの戯曲を上演する計画もありだったということでしたが、その点については実際に詳しいことは確かめることができませんでした。この翻訳原稿には注がついておらず、注番号などがふられていた形跡も全くありませんが、それはおそらく、上演台本の基にするおつもりだったので、舞台作りの現場で手直しをする余地も残すため、注をつける意図はもとよりなかったからではないかと推察しています。とはいえヴィトラックの戯曲には言葉遊びが多く、翻訳困難なところもあり、訳者のご苦勞が偲ばれます。しかし日本語だけを読んでいる場合にはそれが分かりにくい部分もあることを考慮して、最低限の編者注をつけましたが、それが読者のお邪魔になりませんよう願っております。